

「母船式捕鯨の下関の基地化・母港化」に関する

政府要望について【報告書】

要望日時 令和元年5月23日（木）

要望スケジュール 13:00～ 農林水産大臣

13:20～ 水産庁長官

14:05～ 安倍総理事務所

林議員事務所

江島議員事務所

以上のとおり、要望活動を行いましたので報告いたします。

# 要 望 書

母船式捕鯨の下関の基地化・母港化について

令和元年5月23日

下 関 市

山 口 県

下関市議会

くじら文化を守る下関市議会議員連盟

山口県議会

日本伝統捕鯨とクジラ食文化を守る議員連盟

## 母船式捕鯨の下関の基地化・母港化について

山口県下関市は、我が国における近代捕鯨の発祥の地として、鯨文化が市民に広く浸透しており、歴史的・産業的に「くじらの街」として、発展してまいりました。

また、下関市及び山口県では、鯨を下関の水産ブランドとして位置づけ、学校給食における鯨肉の消費拡大や国内外の観光客に対する鯨料理のPRなど、様々な関連施策を展開してきたところです。

こうした中、国においては本年7月からの商業捕鯨再開を決定され、下関市は母船式捕鯨の基地として想定されています。

下関市は、長い鯨文化の歴史のもと、鯨肉の加工・流通等の鯨産業が集積しており、山口県内のみならず西日本の鯨流通の拠点となっていることから、下関市が基地となることで、商業捕鯨再開後においても鯨肉の安定的な取引による捕鯨の発展に寄与することができるものと考えております。

また、現在、老朽化が進む母船「日新丸」の代船建造に向け、コンセプトの検討が進められていますが、下関市における建造は、基地との一体化による回航経費の削減や効率的なメンテナンスが見込まれる上、下関市としては、母船の係留場所の確保など受入体制にも万全を期す所存です。

つきましては、商業捕鯨の持続的な発展と本県水産業の更なる活性化に向け、下記のとおり、母船式捕鯨の下関の基地化・母港化について要望しますので、特段の御高配を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 記

#### 母船式捕鯨の下関の基地化・母港化

- 鯨肉の安定的な陸揚げの確保に向けた母船式捕鯨の下関の基地化の実現
- 母船「日新丸」の下関市での代船建造（母港化）の実現



鯨加工品



学校給食における鯨肉の提供



母船「日新丸」

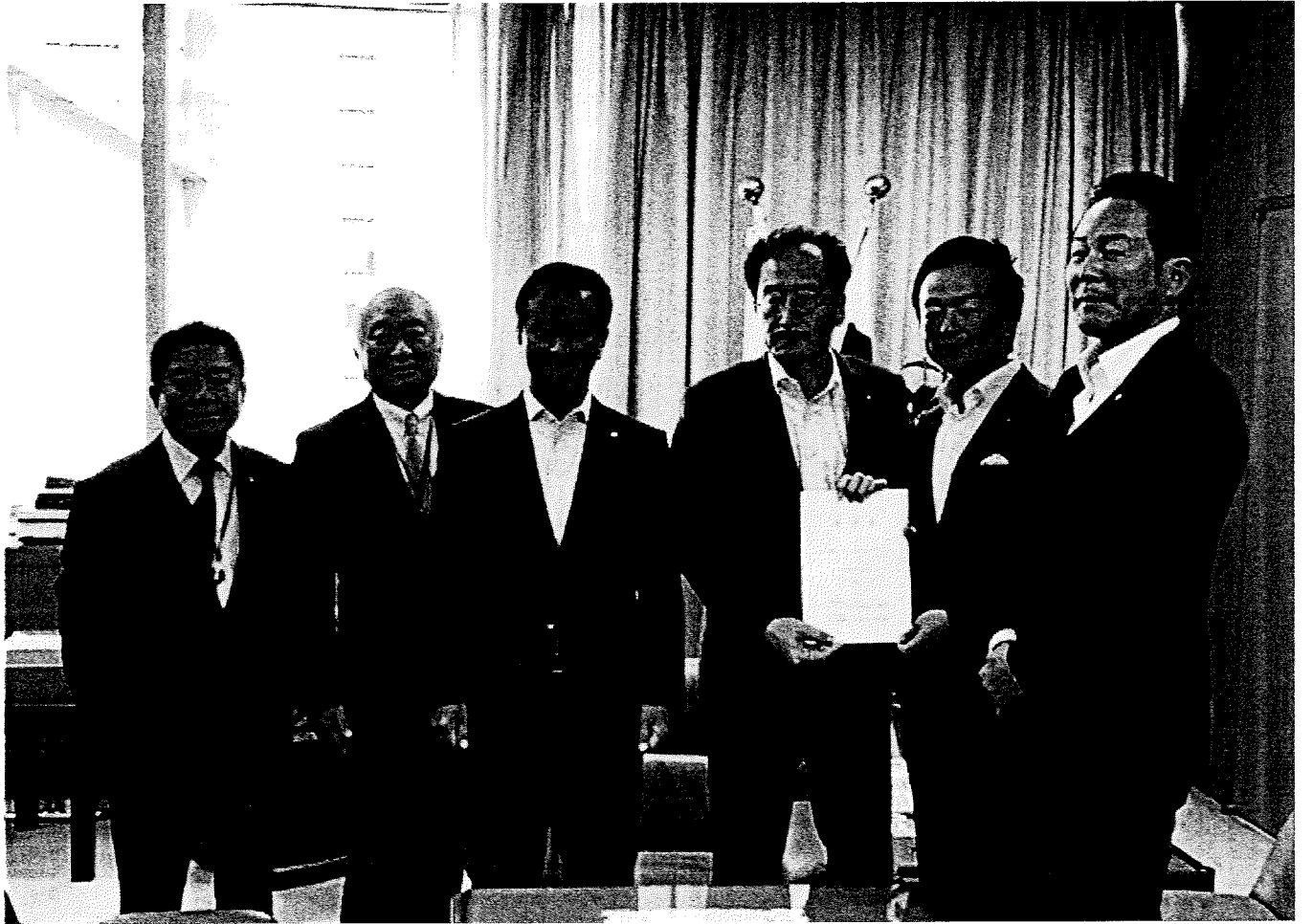
令和元年5月23日

下関市長 前田 晋太郎

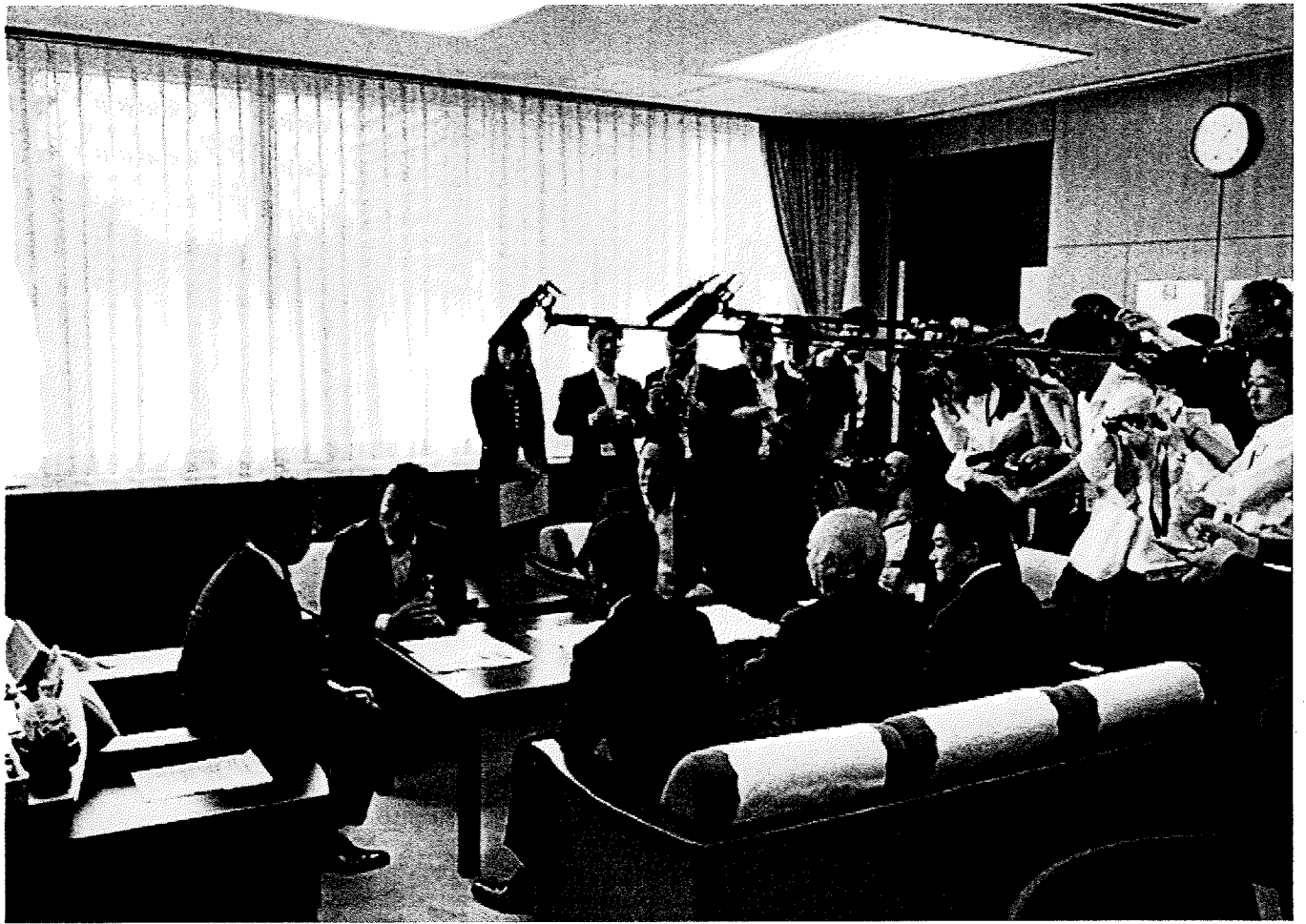
山口県知事 村岡 嗣政

下関市議会  
くじら文化を守る下関市議会議員連盟  
会長 林 真一郎

山口県議会  
日本伝統捕鯨とクジラ食文化を守る議員連盟  
顧問 柳居 俊学  
会長 塩満 久雄







### 商業捕鯨船団

## 「下関を母港に」 知事改めて意欲

7月に予定される商業捕鯨の再開を前に、村岡嗣政知事は4日の定例記者会見で「地域産業を活性化させるため、山口全体で盛り上げていきたい」と述べた。捕鯨の拠点で栄えた下関市を船団の基地・母港とするよう政府に引き続き強く求めることに意欲を示した。

村岡知事は「クジラの流通から船のメンテナンスまで全て下関でできれば、経費節減や雇用拡大など地域経済にプラスがある」と強調した。

また、村岡知事は「クジラはおいしい食べ方がたくさんあるのになじみが薄く過小評価されている」と残念がり「商業捕鯨の再開を機に山口ならではの食べ方を発信したい」と力を込め

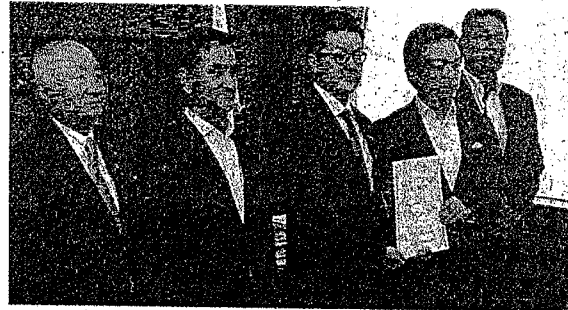
た。県は、給食に鯨肉を年2回以上使う小中学校に購入費を半額補助している。会見では政府の来年度の予算編成に向け、中小企業の事業承継の促進や医師の養成・確保対策の推進など55項目の早期着手や財政支援を関係省庁に要望することも明らかにした。



# 下関の基地・母港化を

## 母船式捕鯨市長、知事ら国に要望

国際捕鯨委員会(IWC)・田舎太郎市長と村岡副知事らから約30年ぶりに商業捕鯨が再開され、議員連盟が再開され、下関市の前市長は母船式捕鯨の基地として、老朽化が進む母船「日新丸」の代船を地元で建造して母港とする。農林水産省に要望した。



農林水産省で、農林水産省と農林水産省に要望した。農林水産省は、農林水産省と農林水産省に要望した。農林水産省は、農林水産省と農林水産省に要望した。

日経 R1年5月4日

**母船式捕鯨**  
下関を基地に  
山口知事らが国に要望  
7月からの商業捕鯨再開を前に、山口知事ら、山口県知事や前田市長、下関市長らが23日、農林水産省や水産庁を訪れ、下関を母船式捕鯨の基地にするよう要望した。老朽化している捕鯨船の後継船を同市の船政所で建造するよう要望した。

市長は「商業捕鯨再開を心から歓迎したい。近代捕鯨発祥の地として、物流や加工などさまざまな面で支えてもらいたい」と認めてくれた。

## 商業捕鯨新船下関で建造を 知事ら農水省などに要望



浜村政務官(左から2人目)に要望書を手渡す前田市長(同3人目)ら

7月からの日本近海での商業捕鯨再開を前に、村岡知事や下関市の前田市長、市長らは23日、農林水産省や水産庁を訪れ、下関への鯨肉の安定的な陸揚

入れ態勢は整っている」と述べた。村岡知事は「クワジラ関係の産業が復興し強化されることで、クワジラの食文化の普及にも弾みをつけていきたい」と意気込

## 基地・母港化 国に要望

### 日商業捕鯨再開 下関市と県 共同歩調

7月からの日本近海で約30年ぶりに商業捕鯨が再開されるのに向け、下関市の前田市長と村岡副知事らから約30年ぶりに商業捕鯨が再開され、議員連盟が再開され、下関市の前市長は母船式捕鯨の基地として、老朽化が進む母船「日新丸」の代船を地元で建造して母港とする。農林水産省に要望した。



農林水産省(中央)に要望書を渡した前田市長(右)と村岡副知事(左)ら

7月からの日本近海での商業捕鯨再開を前に、村岡知事や下関市の前田市長、市長らは23日、農林水産省や水産庁を訪れ、下関への鯨肉の安定的な陸揚

## 新捕鯨母船の建造地要望

下関市と県が農水省に  
知事「鯨食文化普及に弾みつく」

7月からの日本近海での商業捕鯨再開を前に、村岡知事や下関市の前田市長、市長らは23日、農林水産省や水産庁を訪れ、下関への鯨肉の安定的な陸揚

下関市の前田市長と村岡副知事らから約30年ぶりに商業捕鯨が再開され、議員連盟が再開され、下関市の前市長は母船式捕鯨の基地として、老朽化が進む母船「日新丸」の代船を地元で建造して母港とする。農林水産省に要望した。